

授業科目	こども家庭支援の心理学 (CD クラス)				単位	2			
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH11207J			
開講年次	1 年	開講時期	後期	該当DP	DP2-1 DP3-2				
担当教員	命婦 恭子、阿南 寿美子								
授業概要	保育の対象である子どもとその家庭を支援するための基本的な知識を身につける。子どもの精神保健とその支援方法、生涯発達と初期経験の重要性、家庭の意義と機能、子育てを取り巻く社会状況について、事例を含む実践的な内容について能動的に学ぶ。								
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの精神保健について、課題や支援方法を理解する。 2. 生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 3. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係とうについて発達の観点から理解し、子どもとその家族を包括的に捉える視点を習得する。 4. 子育て家庭を巡る現代の社会的状況と課題について理解する。 								
達成度評価									
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考	
総合評価割合	0	35	0	0	50	15	100		
知識・理解 (DP1-1)									
知識・理解 (DP1-2)					30				
知識・理解 (DP1-3)									
知識・理解 (DP1-4)									
思考・判断 (DP2-1)		15			20	5	40		
思考・判断 (DP2-2)									
関心・意欲 (DP3-1)									
関心・意欲 (DP3-2)		20			30	10	60		
態度 (DP4-1)									
態度 (DP4-2)									
態度 (DP4-3)									
技能・表現 (DP5-1)									
技能・表現 (DP5-2)									
技能・表現 (DP5-3)									
具体的な達成の目安									
理想的レベル					標準的なレベル				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どものメンタルヘルスについて初歩的な知識を有し、支援方法について考えることができる。 2. 乳幼児期のみならず、生涯発達についての基本的な知識を有し、青年期以降の発達課題や危機について理解している。 3. 家族や家庭の意義や機能について初歩的な知識を有し、現代的な家族の問題について関心をもっている。 4. 子どもや保護者への支援について、その意義や必要性を理解し、実践方法について考えることができる。 					<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どものメンタルヘルスについて初歩的な知識を有している。 2. 乳幼児期のみならず、生涯発達についての基本的な知識を有している。 3. 家族や家庭の意義や機能について初歩的な知識を有している。 4. 子どもや保護者への支援について、その意義や必要性を理解している。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション(阿南・命婦) 授業内容や進め方について。ピアヘルパー資格について。	講義	配付資料をもとに学習計画を立てる	15
2	子どものメンタルヘルスとその支援1(命婦) 精神分析理論と認知行動理論を背景とした支援	講義	授業内容を振り返る	15
3	子どものメンタルヘルスとその支援2(命婦) パーソンセンターアプローチによる支援	講義 小テスト	授業内容を振り返る	15
4	子どものメンタルヘルスとその支援3(命婦) 子どものストレスと心の健康	講義 小テスト	授業内容を振り返る	15
5	子どものメンタルヘルスとその支援4(命婦) 子どもの精神疾患とその支援	講義	授業内容を振り返る	15
6	子どものメンタルヘルスとその支援5(命婦) 子どもの心の健康における生活と生育環境の影響	講義	授業内容を振り返る	15
7	生涯発達1(阿南) 乳幼児期から学童期前期にかけての発達を理解する	スライドを用いて講義を行う	配布資料をノートにまとめながら授業内容についての理解を深める	30
8	生涯発達2(阿南) 学童期後期から青年期にかけての発達を理解する	スライドを用いて講義を行う	配布資料をノートにまとめながら授業内容についての理解を深める	30
9	生涯発達3(阿南) 成人期・老年期における発達を理解する	スライドを用いて講義を行う	配布資料をノートにまとめながら授業内容についての理解を深める	30
10	家族・家庭の理解1(阿南) 家族・家庭の意義と機能を理解する	スライドを用いて講義を行う	配布資料をノートにまとめながら授業内容についての理解を深める	30
11	家族・家庭の理解2(阿南) 親子関係・家族関係について理解する	スライドを用いて講義を行う	配布資料をノートにまとめながら授業内容についての理解を深める	30
12	家族・家庭の理解3(阿南) 子育ての経験と親としての育ちについて理解する	スライドを用いて講義を行う	配布資料をノートにまとめながら授業内容についての理解を深める	30
13	子育て家庭の支援1(命婦) 子育てをとりまく社会的状況、ライフコースと子育て	講義	授業内容を振り返る	15
14	子育て家庭の支援2(命婦) 多様な家庭の理解と配慮を要する家庭の支援	講義	授業内容を振り返る	15
15	授業のまとめ(阿南・命婦) 授業内容のまとめと振り返り	講義	授業内容を振り返る	30
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	「保育の心理学」で子どもの心身の発達について理解しておくことが望ましい。			
テキスト	指定しない			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	新保庄三・田中和子 2016 保護者支援・対応のワークとトレーニング ひとなる書房 神山潤 2015 ここだけは押さえておきたい子どもの眠りの大事なツボ 芽ばえ社 日本カウンセラー協会 2001 ピアヘルパーハンドブック 図書文化 日本カウンセラー協会 2002 ピアヘルパーワークブック 図書文化			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	現代的な家族の問題や支援のあり方についての報道に気をつけておいてください。 自分自身のメンタルヘルスについても考える機会にしてください。			
達成度評価に関するコメント	小テスト35%、レポート外の提出物 50%、その他(授業貢献度)15%で評価します。 授業では、ディスカッションやワークへの積極的な参加が求められます。			